

子育て支援パワーアップセミナー

今だから！

★ ★ ★

「地域でいかそう、あなたのチカラ」

このセミナーでは、子どもや子育ての現状、子どもの育ちを支える大人の役割について、講義や受講者間の交流を通して学ぶことができます。子どもと関わる活動について取り組んでみたい、自分の活動をふり返るきっかけにしたい皆さん、是非ご参加ください！
学校支援ボランティア、学童保育、ファミリーサポート事業などに関わる方の研修にも最適です！



- ★ 日時 2012 年 8 月 2 日 (木) 10:00~16:00
- ★ 会場 日本女子会館 5 階講義室 (東京都港区芝公園 2-6-8)
- ★ 対象 地域で子どもたちを支援する活動を始めてみたい方、実際に取り組んでおられる方、そのような活動・取組に関心をお持ちの方など
- ★ 定員 30 名 (先着順)
- ★ 受講料 3,000 円
- ★ 認証 1 日ご受講いただくと、「こどもパートナー」認証が取得可能になります。
* 「こどもパートナー」認証申請には、受講料のほかに、別途 2,000 円が必要です。
* 「こどもパートナー」については裏面をご参照ください。
- ★ 申込方法 FAX, 電話, ホームページでお申込ください。申込を受け付けましたら、1 週間以内に受講可否の連絡を差上げます (1 週間経っても連絡がいかない場合は、お手数ですが電話でお問合せください)。
- ★ 申込・問合せ (公財) 日本女性学習財団 学習事業課 TEL: 03-3434-7575 担当: 池田

主催	公益財団法人 日本女性学習財団	〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館 5 階 TEL: 03-3434-7575 FAX: 03-3434-8082 E-mail: jawe@nifty.com URL: http://www.jawe2011.jp
共催	特定非営利活動法人 東京学芸大こども未来研究所	〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学内 TEL & FAX: 042-329-7795 E-mail: codomo@u-gakugei.ac.jp URL: http://www.u-gakugei.ac.jp/~codomo/

【プログラム】

*時間は目安です。

時間	テーマ	主な内容	講師
10:00	開会	講座の流れや認証制度について、オリエンテーションを行います。	
10:20 11:20	教育支援者とは	支援者の役割、支援の意味について学びます。 「こどもパートナー」の役割を考察します。	松田恵示さん (東京学芸大学教授)
11:30 12:30	子どもを取り巻く環境	子どもの育ちを支える大人や地域の役割について 実例を交えながら考えあいます。	田中雅文さん (日本女子大学教授)
12:30 13:30	昼食	昼食はご持参ください。会場は飲食可能で、皆さんで交流もできます。 近隣には、コンビニエンスストア、弁当販売店、喫茶店などあります。	
13:30 15:40	子どもの理解 子どもとの接し方	・子どもと関わる視点について学びます。 ・子どもの遊びの意味、遊びを支える大人の役割・姿勢について考えあいます。	武田信子さん (武蔵大学教授)
16:00	閉会	「こどもパートナー」認証申請を受け付けます(希望者のみ)。	

【こどもパートナー認証講座】について

このセミナーは、東京学芸大こども未来研究所との共催で行います。

「こどもパートナー認証」は、全国の国立大学・私立大学が地域の教育支援活動をより進めるために新しく設置した「一般社団法人教育支援人材認証協会（JACTES）」の認証制度に基づくものです。

「こどもパートナー認証講座」目的・内容

- 「こどもパートナー」認証講座は、「子どもと関わりあう力」を身につけることを目標とし、「子どもと関わりあう力」について学んだことを認証します。
- 子どもの特性を大切にするとともに、活動に参加することに誇りと責任を持ち、自らをふり返りつつ他者と連携して、自身の生涯学習をも実現しようとする人をサポートします。
- 認証取得者には、活動履歴として活用できるパスポート等を発行します。

* 詳しくは、「教育支援人材認証協会（JACTES）」ホームページ (<http://www.jactes.or.jp>) をご参照ください。

子育て支援パワーアップセミナー 申込書 **FAX 03-3434-8082** (公財) 日本女性学習財団 宛

氏名	ふりがな	年代
		代
住所	〒 -	
電話・メール	電話 (- -)	FAX (- -)
	メール (@)	
所属		
参加動機や講座に期待すること		

★財団 HP からもお申込いただけます。個人情報は当該事業の業務以外には使用しません。